

第17回 ヨハンナ・マルツィ (ハンガリー) 全4回  
その3 放送局録音及びライブ録音 1(1954~1957) (29~32歳)

メジャーレーベル・DG, EMIを去ってからも、ヨハンナ・マルツィには欧州各地その他での放送局録音や、数は少ないが劇場ライブ録音も残されています。

2000年には加 DOREMI 社からカナダ・モントリオールでのライブ録音(CD)が、2012年には英国のクー・ダルシェ(GOUP d'ARCHET)社から欧州各地での放送局録音が、マルツィのDG・EMI時代より演奏断念に至る1972年48歳まで広範囲に集められ(LP9枚、CD8枚)発売されました。

その後もDOREMI社から米国、南アでのライブ録音が発売され、他社も競って埋もれている録音を発掘するようになり、マルツィの録音はかなり充実してきました。



往年の女流  
名ヴァイオリニストによる  
演奏を聴く

今回はその中から、クレンペラー指揮ハーグ・レジデンティ管弦楽団のアムステル・ライブによる、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲をLP(モノラル)でお聞かせください。録音はかなり劣悪ですが、緊迫感のある素晴らしい演奏です。(独 archiphon)

次に、本年2月に発売されたベートーヴェンのスプリング・ソナタ(ケルン放送)(モノラル p:アントニエッティ)は初出であり、マルツィならではの爽快な好演奏が楽しめます(独 WEITBLICK)。

最後に、2010年DEREMI 発売のベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲(指揮ヌッシオ、スイス・イタリア語放送管弦楽団・ライブ)はマルツィ唯一の録音(モノラル)であり、音質にやや難点はあるものの、その真摯な演奏には圧倒されます。  
お楽しみに。

(尚クー・ダルシェ社(CD)は次回最終回に採り上げます)

日時 / 5月29日(日) 13:30~15:45  
場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール  
発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全18回 (予定)  
参加自由・入場無料

問合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>